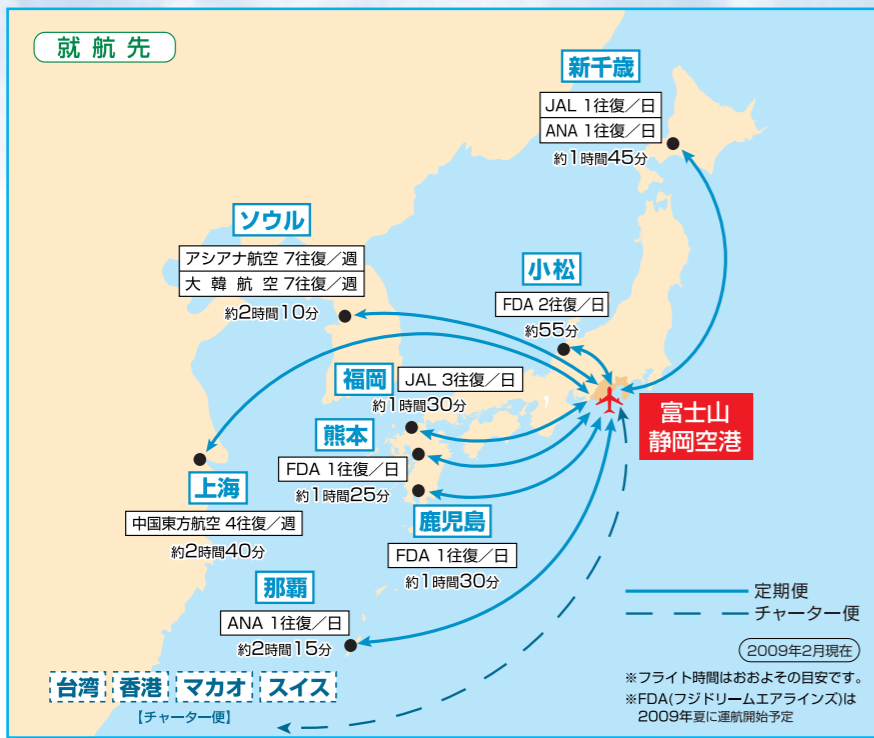


●就航先



●チャーター便のお知らせ

当協議会の就航促進・利用拡大委員会では、定期便誘致に向け開港日から、台湾、香港へのチャーター便を運航します。このほかにも、現在までにスイス、マカオへのチャーター便も含め、10便が計画中です。富士山静岡空港の開港記念に、海外へご旅行を計画されてはいかがでしょうか。

就航先	発着日	航空会社	機材	座席数	販売状況
香港	6月4日(木)～7日(日)	キャセイ パシフィック航空	エアバス A321	157	販売中
	6月7日(日)～10日(水)				
	6月10日(水)～13日(土)				
主催旅行会社 静鉄観光サービス 阪急交通社静岡支店 読売旅行静岡営業所 農協観光静岡支店 エイチ・アイ・エス静岡営業所					

就航先	発着日	航空会社	機材	座席数	販売状況
マカオ	6月4日(木)～7日(日)	マカオ航空	エアバス A321-200	176	準備中
	6月11日(木)～14日(日)				
主催旅行会社 速鉄トラベル JTB中部浜松支店					

就航先	発着日	航空会社	機材	座席数	販売状況
台湾	6月4日(木)～7日(日)	チャイナエアライン	ボーイング 737-800	158	販売中
	6月7日(日)～10日(水)				
	※6月10日(水)～13日(土)				
	6月13日(土)～16日(火)				
主催旅行会社 静鉄観光サービス JTB中部静岡支店 近畿日本ツーリスト静岡支店 日本旅行静岡支店 阪急交通社静岡支店 読売旅行静岡営業所 タビックスジャパン静岡支店 農協観光静岡支店 ※一般販売の予定はありません。					

就航先	発着日	航空会社	機材	座席数	販売状況
チューリッヒ (新千歳経由)	7月15日(水)～22日(水)	エーデルワイス航空	エアバス A330-200	307	販売中
主催旅行会社 近畿日本ツーリスト静岡支店 タビックスジャパン静岡支店 読売旅行静岡営業所 農協観光静岡支店					

就航先&チャーター便スケジュール いよいよ実現！静岡から世界の空へ

3月時点で、定期路線は、国内では新千歳、福岡、沖縄線が開港時から就航し、本年夏からは、小松(石川県)、熊本、鹿児島線が運航を開始する予定です。国際線は、ソウルと上海の2路線が決定しており、ともにアジアを代表する国際空港であることから、これらを経由した世界各国へのフライトも可能となります。また、チャーター便も開港日を含め計10本が予定されており、いよいよ、富士山静岡空港から、空の旅が始まります。

スカイ・レジャー・ジャパン& エアポートフェスタ2008 in 静岡 完成直前の富士山静岡空港をフェスタで体感！



当協議会では「多文化交流村」と名付けられた大型テントを設置し、就航先の観光情報の提供や特産品の販売、航空各社のPR、航空文化・歴史の展示、サポーターズクラブへの参加の呼びかけなどを行った。ステージでは、地元を中心とした郷土芸能などが披露されたほか、県内の特産品販売ブースも100余り出展し、特に各茶産地が集合した「お茶街道」は多くの来場者によりにぎわった。また、航空機の展示や軽飛行機による、宙返りや背面飛行といった曲芸飛行は、航空ファンのみならず多くの観客の喝采を受けた。



第2回静岡県・鹿児島県 産業交流セッション開催 ふじのくに交流団(福岡) への参加

昨年11月13日～15日に、FDAの就航が予定されている鹿児島県において第2回目となる産業交流セッションを開催した。これまでも、ふじのくに交流団の派遣による、静岡県と鹿児島県における相互交流の促進を深める試みが行われている。今回のセッションでは、各分野での産業交流を推し進める提言書採択し、経済産業交流の活性化を図ることに、より、両県を結ぶ就航路線の安定拡大につなげることを確認した。

今年の1月16日～18日、産業・経済・観光の団体等で構成した「ふじのくに交流団」(団長 石川知事)が定期便就航先となる福岡県を訪問。参加総数147名で、当協議会からは沼津商工会議所の後藤全弘会頭らが参加した。1日目は、福岡県内の商工団体と交流を深めたほか、静岡フェア、観光商談会、ふじのくに交流会への参加などを通じて、静岡の魅力の発信や、さまざまな分野における両県の交流拡大に向けたプロモーションを行った。

富士山静岡空港就航促進協議会から 富士山静岡空港利用促進協議会への改組

活動の中心を利用促進に！

富士山静岡空港就航促進協議会は、昨年の12月17日、臨時総会を開き、事業内容、組織の拡充のため、「富士山静岡空港利用促進協議会」へと改組することを決定した。改組により、従来の就航促進から利用促進へと活動の中心が移行し、委員会は当時の3つ(定期便就航、教育旅行、広報)から、就航促進・利用拡大、教育旅行、産業交流、自治体空港活用促進、広報、の5つに拡充した。会議はJNTOの間宮理事長の講演に続き、組織の名称変更や、県が協議会に特別顧問として参画することなどが盛り込まれた会則の変更案などを決定。また、空港完全運用の早期実現等を盛り込んだ「富士山静岡空港利用促進宣言」も採択した。